

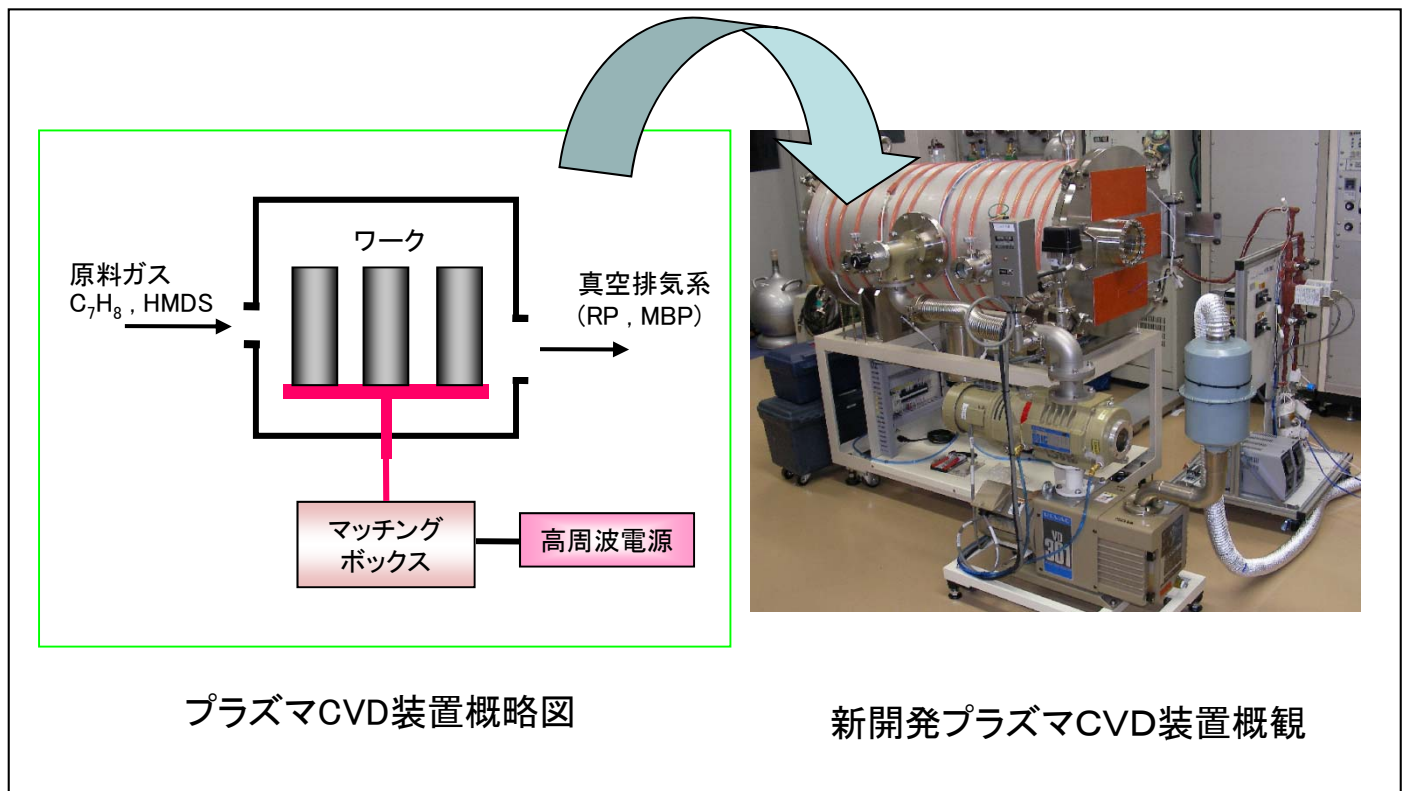
量産化ダイヤモンドライクカーボン(DLC)膜製造装置の開発

■研究の概要

DLC膜は、高硬度で耐摩擦、耐摩耗、耐食性に優れているので自動車部品への利用が望まれるものの、コストが高いため一部の利用に限られているのが現状です。そこで本研究では、自動車部品への実用化を目的として、低コストで製造できるプラズマCVD法を用いたDLC膜製造装置を開発しました。

■研究の項目

DLC膜の量産化が低コストで可能なDLC膜製造装置を開発しました。



■研究の成果

- ①低コストで優れた特性を有するDLC膜を量産できるので、自動車産業やIT産業での実用化が促進される。
- ②アルミニウム、マグネシウムへ耐食性、装飾性に優れたDLC膜のコーティングが可能となる。
- ③特許出願中：特開2008-38217

担当職員 井手幸夫、福田 匠

開発企業：株式会社ユーテック